

校長通信 第8号 平成29年度(2017年度)10月20日

ゴヤ・フリオ GOYA, Julio 氏 (1953~)

本校の校舎の壁等に絵画が描かれています。その製作者がゴヤ・フリオさんと聞いています。機会があればインタビューしてみたいですね。県立博物館のHPより略歴を拝借しました。

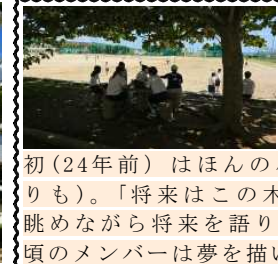
1953年 アルゼンチン共和国フエノアイレス生まれ 1983年 フエノアイレス国立美術学校大学院卒業 1985年 来沖し、満添市に在住



事務室近くの広場



1988年「第2回ロダン大賞展」(長野県)「Symphony(シンフォニー)」美ヶ原高原美術館大賞
1989年「個展」(画廊沖繩/那覇市)「マチスへのオマージュ」、「ダンス」(銅線、ステンレス)など出品 1995年「馬の彫刻コンクール」(岩手県)「Yafasto(ヤタスト)」入賞 1997年 満添市庁舎屋上モニュメント制作 1998年 二人展「フリオ・ゴヤ&ビクトル・ウーゴ・ナガマ 彫刻・レリーフ展」(那覇、仙台、東京)
2001年「個展」(千葉県) 2004年 国立劇場おきなわにオブジェ「花売りの縁」 「執心鐘入」設置 2005年 個展「フリオゴヤ彫刻展」(那覇市) 「虎」ほか出品 2006年 てだこ交流文化センター(満添市)にて、作品設置 2007年「個展」(アルゼンチン大使館/東京)
これらの作品がどこにあるか探してみてください。



クワディーサ

教えて考えさせる (箸の持ち方から)

小学生だったと思います。母から「箸の持ち方変だよ」「大きくなったら恥かくよ」と良く言われていました。とって、持ち方を教わった記憶はありませんでした。二つの箸がXの形になっていて、鉛筆の持ち方になっていました。豆など小さなものは箸ではつかめませんでした。大きくなればできるんだからまあいいやと思っていたのでしょうか。ある日、テレビで箸の持ち方指導を見ました。真似しました。なるほど、使いやすい。それ以来、豆が怖くなくなりました。それどころか小さなものを好んで箸でつまむようになった記憶が残っています。使い方がわからなくて自己流。指導されて始めてわかることは多々ある。良く言われる「教えて、考えさせる」という教育手立てが好きです。子供たちへは始めに、教える必要があります。箸の持ち方でそのことを実感しています。(カッターの使い方もあります。次回)



虹が見えました。生徒が登校中、振り返りながら見ているのでどうしてかと。それも二つ出ていました。左は自分が描いた模式図です。虹は雨粒によって観察者の反対側にある太陽光が屈折・反射により見られる現象ですが、美しいですね。大自然の奇跡を感じます。主虹に対して二つ目の薄いやつは副虹と言いますが、色の配列が主虹と反対になります。副虹は雨粒の中で太陽光が2回反射することにより色の配置が反対になります。※もしや主虹は下の方に見えるのかな？

虹

虹が見えました。生徒が登校中、振り返りながら見ているのでどうしてかと。それも二つ出ていました。左は自分が描いた模式図です。虹は雨粒によって観察者の反対側にある太陽光が屈折・反射により見られる現象ですが、美しいですね。大自然の奇跡を感じます。主虹に対して二つ目の薄いやつは副虹と言いますが、色の配列が主虹と反対になります。副虹は雨粒の中で太陽光が2回反射することにより色の配置が反対になります。※もしや主虹は下の方に見えるのかな？

学校説明会①



中学校から先生方もおみえでした。生徒が本校を希望する際には、

子供たちへの支援と提出資料の作成等宜しく願います。希望者は全員合格して欲しいですね。



学校説明会②

10月11日(水)学校説明会を行いました。前半は中学三年生・保護者対象、後半は中学校教諭対象。季節は秋とはいえ暑い中多くの方にお集まりいただきました。ありがとうございます。我々は皆さんを応援します。ということをお伝えしました。文武(芸)両道、学寮(一校で所有)、国際化(留

学校生活の一学・受入)、大学入場面です。グ学 学生選抜試験(新たなセンター試験)にラウンドの周対 対応していくための注目。創立当取組。教頭の概略の初(24年前)はほんの小さな木(人よ説明の後、国際文科を眺めながら将来を語りたいね)とその理数科、普通科の学科の説明をそれぞれ学科代表の生徒に発表してもらいました。国際文科は留学・受入を含めた元気なクラスをアピール、理数科は理数系の研究の様子、普通科は全体的な様子、それぞれ特徴のある紹介でした。

最後の質問コーナーでは中学生の皆さんから五個くらい質問がありました。「勉強は何時間くらいやるのですか。」⇒「3時間くらいかな」、「高校受験勉強はどうしてしましたか。」⇒「塾に通いやることをやる」、「中国語はどの言葉を習っているのですか。」⇒「北京当たりの共通語です。」等、高校生でないとは回答できない質問ばかりでした。中には、「来年のミスター向陽は自分が取る」と宣言もありました。

さてさて、虹②

恋人同士、海辺でベンチに腰掛け虹を眺めながら、美しいとお互いに感じ、同じ虹を眺め、これからの人生を希望のあるものにしようと誓い合った。表現には様々あるので、状況のみを思い浮かべて下さい。ただ、上記文章には科学的に誤った表現があります。そうですね。「同じ虹」の部分ですね。太陽光が雨粒で反射し光が目に入ってきて色が見えるのですが、恋人同士の位置(目)が少しずれているので見ている光(雨粒)も少しずれた位置にあるのを見ているのです。同じ虹を見るにはファインダーを通して見るしかないのかな。これを生徒へ話した際は「夢がない」と言われたものですが、自分にとってはこの科学の方がよっぽど夢を感じます。